

信州の環境にやさしい農産物認証 栽培事例（水稲）

認証取得者氏名	伊那有機栽培研究会	認証番号	50-00035	地域名	上伊那
地域（標高）	630m				
土壌（土性）					

項目	生産計画の内容	補足メモ																																													
1 栽培 状況	(1) 品目	米（品種：コシカ、ミルキークイーン）																																													
	(2) 面積	446 a																																													
	(3) 栽培戸数又は労働力	3戸																																													
	(4) 栽培期間	平成27年5月～平成27年9月																																													
	(5) 収穫期間	平成27年9月20日頃～平成27年10月5日頃																																													
	(6) 収穫量	H26実績 16,248 kg（うち出荷量：16,248 kg） H27計画 23,090 kg（うち出荷量：23,090 kg）																																													
2 栽培 方法	(1) 土づくり	土壌診断に基づく施肥設計（交換性苦土の少ないほ場では、苦土石灰肥料を積極的に投入）																																													
	(2) 播種	平成27年 4 月 15 日																																													
	(3) 育苗	平成27年 4 月 15 日～5 月 15 日 プール育苗																																													
	(4) 田植え	平成27年 5 月 15 日～5 月 23 日																																													
	(5) 施肥	<p>化学肥料を50%以上削減するために導入している具体的な技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 稲わら全量すき込み（除草を兼ねて秋冬期に2回耕起） ・ 有機質肥料施用技術（米ぬか堆肥） <p>肥料の施用状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">肥料の種類</th> <th rowspan="3">施用量 (kg/10a)</th> <th colspan="4">成分量(kg)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">窒素</th> <th rowspan="2">リン酸</th> <th rowspan="2">加里</th> </tr> <tr> <th colspan="2">うち化学由来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オーガニック853</td> <td>60</td> <td>4.8</td> <td>0</td> <td>3.0</td> <td>1.8</td> </tr> <tr> <td>オーガニック742</td> <td>30</td> <td>2.1</td> <td>0</td> <td>1.2</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>米ぬか堆肥</td> <td>90</td> <td>2.2</td> <td>0</td> <td>5.2</td> <td>1.8</td> </tr> <tr> <td>アルギンゴールド</td> <td>30</td> <td>0.6</td> <td>0</td> <td>0.1</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td>210</td> <td>9.7</td> <td>0</td> <td>9.5</td> <td>5.1</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td>地区慣行施肥量 (kg/10a)</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>低減率(%)</td> <td>100</td> </tr> </table>	肥料の種類	施用量 (kg/10a)	成分量(kg)				窒素		リン酸	加里	うち化学由来		オーガニック853	60	4.8	0	3.0	1.8	オーガニック742	30	2.1	0	1.2	0.6	米ぬか堆肥	90	2.2	0	5.2	1.8	アルギンゴールド	30	0.6	0	0.1	0.9	合計	210	9.7	0	9.5	5.1	地区慣行施肥量 (kg/10a)	11	低減率(%)
肥料の種類	施用量 (kg/10a)	成分量(kg)																																													
		窒素			リン酸	加里																																									
		うち化学由来																																													
オーガニック853	60	4.8	0	3.0	1.8																																										
オーガニック742	30	2.1	0	1.2	0.6																																										
米ぬか堆肥	90	2.2	0	5.2	1.8																																										
アルギンゴールド	30	0.6	0	0.1	0.9																																										
合計	210	9.7	0	9.5	5.1																																										
地区慣行施肥量 (kg/10a)	11																																														
低減率(%)	100																																														

2 栽培方法	(6) 病害虫防除	<p>化学合成農薬を50%以上削減するために導入している具体的な技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 殺虫殺菌剤、殺菌剤、殺虫剤を使用しない <p>技術を導入する際の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病害虫自体の発生を抑えるために、認証申請ほ場は、風通しのよい地帯のほ場を選択している。 <p>病害虫防除の内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>使用農薬名※</th> <th>倍率・使用量</th> <th>有効成分数</th> <th>散布回数</th> <th>成分カウント</th> <th>除外力カウント</th> <th>慣行回数への付加力カウント</th> <th>慣行回数</th> <th>対象病害虫</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>殺虫殺菌剤</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3">8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>殺菌剤</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>殺虫剤</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">除草剤</td> <td>① エリジャン乳剤</td> <td>300ml</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② ザーベックスDX1キロ粒剤</td> <td>1kg</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>植調剤</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: right;">合計</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>12</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>農薬の使用回数</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>地区慣行農薬使用回数</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>削減率(%)</td> <td>58.3%</td> </tr> </table>		使用農薬名※	倍率・使用量	有効成分数	散布回数	成分カウント	除外力カウント	慣行回数への付加力カウント	慣行回数	対象病害虫	殺虫殺菌剤								8		殺菌剤									殺虫剤									除草剤	① エリジャン乳剤	300ml	1	1	1			4		② ザーベックスDX1キロ粒剤	1kg	4	1	4				植調剤										合計					5	0	0	12		農薬の使用回数	5	地区慣行農薬使用回数	12	削減率(%)	58.3%
		使用農薬名※	倍率・使用量	有効成分数	散布回数	成分カウント	除外力カウント	慣行回数への付加力カウント	慣行回数	対象病害虫																																																																										
	殺虫殺菌剤								8																																																																											
	殺菌剤																																																																																			
	殺虫剤																																																																																			
	除草剤	① エリジャン乳剤	300ml	1	1	1			4																																																																											
		② ザーベックスDX1キロ粒剤	1kg	4	1	4																																																																														
	植調剤																																																																																			
	合計					5	0	0	12																																																																											
	農薬の使用回数	5																																																																																		
地区慣行農薬使用回数	12																																																																																			
削減率(%)	58.3%																																																																																			
(7) 雑草防除	<ul style="list-style-type: none"> ・ 畦畔除草・・・機械除草技術 ・ 本田除草・・・代かき後、2～3日位で雑草が生え始めるため、遅くとも1週間以内に田植えを行うことを徹底している。加えて、田植え後、エリジャンを施用し、雑草の初期発生を抑えるようにしている。 																																																																																			
(8) 水管理																																																																																				
(9) 収量の状況	生育はほぼ平年並み。計画反収517kg/10aよりやや増収																																																																																			
(10) その他特記事項																																																																																				

3 販売状況	(1) 主な販売地域	県内、関東	
	(2) 販売方法	米穀取扱業者（米屋）、消費者への直接販売（ネット販売）	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネット販売で注文いただいた消費者に対して、ミルクインの場合は、お米のおいしい炊き方（水加減等）の手書きのメモを添えて発送。 ・ 自家栽培の旬の野菜がある時期は、お裾分け程度に野菜も送付。
	(3) 県認証の活用方法	米穀取扱業者に米を出荷する際に、パンフレットを同封している。	
	(4) 実需者や消費者の反応、メリット	環境に配慮した農業に取り組むことに意義がある。	

始めた動機	<ul style="list-style-type: none"> ・約20年前に環境に配慮した農業の取り組みを始めた。それまでは慣行栽培を行っていたが、雑草や病害虫への化学合成農薬の抵抗性発達が問題となっていた。そのため、環境に配慮した農業について、同じ考え方を有する者と任意組織を結成して取り組んでいる。
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・食味に関係があるとされている苦土に着目し、土壌診断で苦土が少ないほ場には、苦土石灰肥料を投入するなど食味の向上に配慮している。

<栽培暦>

作業	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
耕起施肥												基肥									穂肥									堆肥						
育苗 ～ 収穫												○～			◎									出穂			□									
病虫害防除																		畔草刈			畔草刈															
除草															①②																					
土づくり 施肥	交換性苦土の少ないほ場では、苦土石灰肥料を積極的に投入する。 稲わらを全量すきこむとともに、除草を兼ねて秋冬期に2回耕起する。																																			

ここがポイント！

- ・代かき後、2～3日するとすぐに雑草が生えてきてしまうため、代かき後遅くとも一週間以内には田植をすることを、長年徹底して実施している。
- ・プール育苗で、丈夫な苗づくりを心掛けている。丈夫な苗であれば、イネミズゾウムシが発生しても、被害を軽減することができる。
- ・ネット販売で注文していただいたお客様に対して、手書きのメモを添えたり、旬の野菜をお裾分けするなど販売に工夫している（固定客もあり）

<栽培状況等の写真>

